

月例報告	
学部	グローバル教養
学科	グローバル教養
国名	フランス
留学先	リヨン第三大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告 <語学について> フランスのリヨンについてから二週間ほど経ちました。フランスなのでフランス語を話す機会は多いです。スーパーでの買い物、携帯電話の契約、定期券の購入手続きの際には英語では通じないことが多く、フランス語を駆使せねばなりません。自分だけでは無理そうなこともあり、友達に手伝ってもらったことで乗り越えられたことも多々あります。幸いなことに、リヨンには心優しく親切な方が多いです。私がフランス語をうまく話せずに困っていると、すごく簡単な言い方で言い換えてくれたり、ニコニコしながら「大丈夫だよ、ゆっくりでいいからね」など声をかけてくれたりと、現地の方にも助けられて過ごしています。今週からは大学で留学生向けの一週間のフランス語の集中講座が始まりました。フランス語のレベルごとに8クラスに分けられているのですが、自分がどのクラスに所属しているのかいまいちわかっていません。周りの海外からの留学生のほうが私よりもフランス語ができる人が多いので、いろいろと手助けをしてもらっています。これからのフランス生活に向けて、さらに語学に精を出していかなければと感じています。</p> <p>2.生活状況の報告 リヨンの空港に到着し、市内までのトラムの切符の買い方と乗り場がわからず、近くにいた同い年くらいの女性に声をかけたところ、その子はコロンビア出身で、リヨン第三大学へ留学し、私と同じ英語でおこなわれるコース(SELF)に参加する子でした。(びっくり)学校が始まってからまたその子と再会し、いっしょにランチを食べに行ったり公園に遊びに行ったりしています。日曜日には、他の友人と一緒に、Le Parc de la Tete D'orという大きな公園でピクニックをし、のんびりとした休日を過ごしたりしました。偶然の出会いから、なにか漠然とした期待感が膨らむのを感じます。</p> <p>住居についてです。私が今住んでいる寮は、リヨン第三大学のホームページから予約した私立のStudios Lumiere というところ。ここに決めた理由は、学校から徒歩3分ほどの距離、治安も良い、駅も近い、一人部屋、庭付き、そしてバスタブがある(私にとっては大事)、という好条件だったからです。ただ、家賃が月580ユーロ(約75400円)で、洗濯も一回3ユーロ、乾燥機は1.5ユーロ、お湯を使いすぎると追加料金が加算される、などお金はかかります。そのため、いかに節約するかがポイントになっていて、これから賢く生活していこうと思っています。</p> <p>そして、もしStudios Lumiereに寮を決めた場合、寝具レンタルはしたほうがいいと思います。寝具のレンタルは、シーツ、枕、毛布、かけ布団のセットで年間49ユーロでした。私はレンタルをしないで行ったのですが、着いた初日に部屋を見たときにまず、「あ、やばい今日寝れるかな」って思いました。なぜなら、枕も掛け布団もなかったんです...。(レンタルしてないから今思えば当たり前)すぐに、その日に出会った同じ寮に住んでいる韓国の女の子の部屋を訪れ、一緒に買い物に付き合っしてほしいとお願いして、IKEAまで連れて行ってもらいました。おかげで寝具を買うことができ、無事一晩を越せました。着いた初日にIKEAまで行くのは、遠いインターネットにもつながらないし疲れてるしで、かなり大変でした。私一人ではどうしようもなかったと思います。助けてくれる人がいて本当によかったです。話が逸れましたが、なので、特に衛生面とかのことを気にしないのであれば、寝具のレンタルは強く推奨しておきます。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等) 行政手続についてです。長期学生ビザで6ヶ月以上フランスに滞在する学生は、OFII(長期ビザの有効化の手続き)の手続きが必要です。そのため、到着して1週間ほどで私は手続きを始めました。リヨン第三大学を通して手続きをすることも可能のようですが、先輩からのアドバイスで自分で手続きを進めることにしました。今は先方からの連絡を待っているところです。これから連絡が来たらOFIIの本部まで出向いてビザを有効化しようと思っています。銀行の口座開設は、大学にて銀行の人が手続きをしてくれていたの、そこで行いました。まだ状況がどうなっているのかわからないので、これから確認しに行こうと思っています。また、CAF(家賃補助)の手続きも早くしたいと思っています。この2ヶ月くらいが手続きのピークなので、早めにぬかりなく済ませようと思っています。</p> <p>旅行で何度かヨーロッパに来ていましたが、私にとってはすごく心地がいい地域です。東京のように毎日の通勤ラッシュもなく、人々もおおらかで、自然も多く時間がゆったりしています。手続きが遅いことなどは日常茶飯事ですが、それにも慣れてきました。また、フランスでの暮らしが初めての一人暮らし、初めは戸惑いもありましたが、今ではわりと難なく日々を送っています。今住んでいる寮の環境が良いことが大きいと思いますが、とても快適に日々を過ごしています。同じアパートには日本人の留学生も多く、最近新たに友人ができたので、彼女の部屋に遊びに行ったりしています。なにかあったときに頼れる日本人の友人がいることはすごく心強いです。恋しいことといえば日本で同居していた祖母の美味しい和食、お風呂、きれいなトイレ、おいしい水、です。家族と友人ももちろん。来週からは正規の授業が始まります。こちらで楽しむことはもちろんですが、勉学、就職活動も含め、毎日の生活を充実させるよう気を引き締めて参りたいと思っています。</p>